

2020年4月23日 木 時間：19:00～21:00

場所：なじみギャラリー 徳島市吉野本町6-42 コレクティブハウスなじみ1F *駐車場スペースに限りがございます

対象：医療・介護関係者及び一般の方も参加いただけます。

参加無料
要予約

◎ホームページより
お申し込みください。
www.ota-hc-clinic.com

人はやがて死を迎えます。ご本人も、残される者も、様々な感情や葛藤を抱きつつ、それを避けることはできません。私たちは死を迎える人に、また残される人に、何を語り、どう寄り添えば良いのでしょうか。そもそも、私たちは死をどのように受けとめたら良いのでしょうか…。もちろん簡単に結論を見いだせないテーマですが、死をタブー視せず意識的に見つめていく姿勢が、今という時代をより良く生きるチカラになる気がしてなりません。「看取り」というテーマで、治す立場の医師と、送る立場の僧侶が、いまリアルに感じ想っていることを率直に語りあってもらいます。医療従事者の方はもちろん一般の方々にも、気づきや示唆に富んだ貴重な内容になると思われます。ぜひ、お気軽にご参加ください。



■ 僧侶 加藤 一真

真言宗僧侶。1975年京都府京丹後市生まれ。徳島県鳴門市 高野山真言宗 種時大師 東林院 副住職(2002年就任)。関西大学法学部法律学科卒業。高野山大学文学部密教学科卒業。一般家庭で育つも縁あって僧侶となる。出家者でありながら家庭を持つ、現代のお寺・僧侶のあり方に矛盾を抱き苦しんだ時期もある。近年は、だからこそ分かること、出来ることは何かという思考に立ち、今を生きる人に響く活動を模索し、地道に積み上げたいと考えている。



■ 進行役 新居 篤志

コピーライター。1965年徳島県吉野川市生まれ。香川大学法学部法学科卒業後、株式会社ジャストシステム入社。約10年間広告業務に携わる。2001年よりフリーランス。「阿波おどりポスター」などのコピー制作をはじめ、企業の広告コンサル業務も行う。4年前、父の死を機に経験のない喪失感を覚えたことをきっかけに仏教に興味を持つ。煩惱にまみれながらも、少しでも社会に意義のある仕事をしたいと想っている。

「看取り」について、いま想うこと。 僧侶の目線から、医師の目線から。

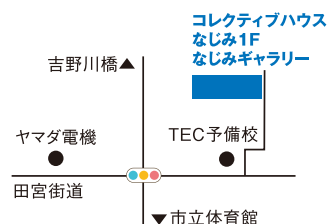


■ 医師 太田 敦

おおた在宅クリニック院長。1963年愛知県生まれ。京都大学農学部卒業後、総合商社他一般企業で12年間総務経理関係に従事する。家族の疾患を契機に健康への意識が高まり徳島大学医学部入学。44歳で医師となる。専門は家庭医療、在宅医療。慣れ親しんだ自宅で、本人、家族が満足できる死を迎えるためには何が必要か、日々悩みながら診療を行っている。

企画／おおた在宅クリニック
Ota Home Care Clinic

お問い合わせ Tel 088-656-3001
Fax 088-603-8227
www.ota-hc-clinic.com



駐車場スペースに限りがございますので、できるだけお乗り合わせの上お越しください